



全校集会「南極のひみつ」氷の音を聞いたよ！

7月13日（水）、全校集会「南極のひみつ」を行いました。南極の位置や気候などを説明した後「南極と北極はどちらが寒い？」「ペンギン、あざらし、クジラ、シロクマのうち、南極にいないのは？」「南極の氷は食べることができるの？」というクイズをしました。3問目のところで、Zoomで朝日新聞東京本社の極地記者である中山由美さんに出演していただきました。中山由美さんは、朝日新聞東京本社の記者でこれまで何度も北極や南極を訪れています。令和2年度の課題図書「北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと」の著者でもあります。中山さんに「南極の氷は食べれるの？」と問いかけると、笑顔で「**食べることができません。空気中のちりや宇宙の隕石、ウイルス等が入っている可能性があります。**」と教えてくださいました。



続いて**南極の氷の実験**をしました。この南極の氷は、中山さんが南極を訪れた際、おみやげに持ち帰った氷を本校に在籍している親戚の児童にプレゼントしたものです。保護者の「寒川小学校のみんなに見せてあげたい。」というご厚意で、学校に届けてくださいました。子どもたちは、本物の南極の氷を見て目を輝かせました。中山さんが、「南極の氷は雪が降り積もり、押し固められたものです。その氷は何百年、何千年と長い年月をかけてできたもののため、その当時の空気が閉じ込められています。南極の氷を水に入れると、「プチッ、プチッ」と音がしますよ。」と教えてくださいました。実際に全校児童が一人ずつ氷の音を聞くことができました。子どもたちからは、「わー、本当にプツプツいよー。」と歓声が！ 校長がSDGsについて触れ、子どもたちが現在学習していることを今回の南極の氷の話と結び付け、環境を守るために自分たちにできることを考え実行することの大切さを話しました。南極を身近に感じることができ、わくわく心躍る集会になりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。



(Information)

今回 Zoom に出演してくださった中山由美記者さんが、小学生向けの15分番組「未来はっけん！地球探検～南極記者“ゆみねえ”と考えるSDGs」を制作されています。夏休みに親子で是非視聴してくださいね。